

令和5年度沖縄市観光振興物産振興協会事業計画（案）
（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

■基本方針

沖縄市観光が目指すビジョン【※本市の重点目標として「世界にひらき活力あふれる国際文化観光都市」を掲げ、本市の異国情緒漂う街並みやライフスタイル、50カ国以上の外国人が暮らす国際色豊かな風土と、伝統文化と異文化が融合した個性的な文化を源泉に、内外を魅了するスポーツや芸能・音楽のエンタテインメントを生かした観光の創出で地域経済をけん引し、地域社会のさらなる発展を目指すこととしております。】を共に推進していくとともに下記の基本方針のもと事業を行なっていきます。

※第2次観光振興基本計画第3章 基本方向 1 重点目標/観光が目指すビジョンより

●地域の魅力を最大限に生かした観光振興

沖縄市の持つスポーツ関連やチャンプルー文化、芸能、歴史的な遺産など、これらの魅力を最大限に活かし、観光振興を行います。具体的には、地元の観光業者や宿泊施設と連携し、アウェイツーリズム、地域の魅力を最大限に生かした観光ルートや謎解きツアーなどの販売、観光客に向けたマーケティング戦略を行い観光振興に活かします。

●沖縄市の特産品の振興

沖縄市には、特産品として物産や工芸品、農産物や海産物などがあります。これらの特産品を活用した振興活動を行い、地元の経済発展につなげます。具体的には、会員の特産品をPRするイベントや市外・県外での販売促進活動を実施し、地元産品の需要拡大を目指します。

●観光バリアフリーの推進（誰もが快適に観光を楽しめる環境づくり）

具体的には、車いす利用者や高齢者、子ども連れの家族や外国人など、あらゆる人々が快適に観光を楽しめるコンテンツの整備や心のバリアフリーの推進をすることで、地域の観光資源の活用拡大を目指します。

●地域の人々と協働

観光振興や物産振興活動を地域の人々と協働して進めていくことが重要だと考えており、地元住民や地域の事業者との連携を図り、地域の魅力を発信していくことで、地域コミュニティの発展とともに沖縄市の魅力を発信し続けます。

上記基本方針を実行に移すために次の実施計画を作成します。

■実施計画

<実施計画一覧>

1. 誘致宣伝活動
2. 受入体制の強化および充実
3. 特産品・お土産品の開発・振興・販売
4. DMO としての活動
5. スポーツコミッション活動
6. 各種イベントの主催・共催・支援・協力
7. 調査・研究・要請活動の推進
8. 組織強化および会員拡大と財務の確立
9. 関係機関・各種団体との連携強化
10. 会議について
11. 各種委員会等への参加
12. 観光危機管理計画の運用及び協会内緊急時の対応について

1. 誘致宣伝活動

①観光 PR 印刷物・Web メディアの企画・監修・作成および配布

- ・ 沖縄市観光情報誌「沖縄市 GO」や各種市内ガイドマップ等の制作協力、配布
- ・ 観光案内ディスプレイの活用
- ・ 観光ポスターの制作協力
- ・ 市内周遊マップの企画・制作・配布「ランチマップ」「ナイトマップ」「ロケ地マップ」
- ・ 文化・歴史を活かした広域周遊(他地域との連携)コンテンツの販売
- ・ FIBA バスケットボールワールドカップ 2023 での街なかへの誘客促進

②デジタルマーケティングの活用

- ・ 協会ホームページの活用
- ・ SNS (Facebook・Twitter・Instagram・ブログ)等を活用し積極的に沖縄市の観光資源や物産、イベント、店舗情報などの情報発信
- ・ 沖縄市観光ポータルサイト「KOZA WEB」との連携
- ・ SNS を活用し潜在的観光客に沖縄市の情報を提供する

③アウエイサポーター・ブースターや修学旅行、MICE・アフターMICE の誘致

- ・ アウエイサポーター・ブースターへの来市促進
- ・ 修学旅行フェアへの参加、PR
- ・ 兄弟姉妹都市からの修学旅行促進活動
- ・ 県内外・海外で行われる MICE 商談会に積極的に参加
- ・ アリーナを活用した MICE 誘致及びビフォー・アフターMICE 誘致促進
- ・ 広島空港を活用したアウエイツーリズム

- ④マスコミ関係者対応
- ・県内外海外等の TV 局、報道およびバラエティ番組関係者への沖縄市の広報・宣伝依頼
 - ・雑誌編集関係者への沖縄市の広報・宣伝依頼
 - ・ネットメディア関係者への沖縄市の広報・宣伝依頼
- ⑤フィルムコミッション事業
- ・映画・CM・TV ドラマ誘致および撮影申請支援
 - ・撮影時におけるエキストラ募集
 - ・JFC ジャパンフィルムコミッションとの連携
 - ・海外メディアとの連携、特に既に接点をもつ台湾メディアとの連携を強化
 - ・映像コンテンツを活用し、国内外のマーケットにて誘客プロモーション
 - ・本市を題材とした作品の誘致
 - ・本市を題材とした作品の PR
- ⑥ミスハイビスカス・ちゃんぷる～沖縄市大使の活用事業
- ・ちゃんぷる～沖縄市大使などの活用
 - ・ミスハイビスカスの活用業務(年次研修および活動)
 - ・ミスハイビスカス、ちゃんぷる～沖縄市大使、ナイトメイヤーを活用した広報活動
- ⑦観光・物産キャラバンの実施
- ・沖縄観光コンベンションビューロー(OCVB)等との連携強化
 - ・日本政府観光局(JNTO)との連携強化
 - ・県内・県外・海外における観光や物産などの見本市へ積極的に参加
 - ・エイサー派遣事業等による沖縄市の観光の PR
 - ・J リーグ・B リーグアウェイゲームにおける沖縄市の観光 PR、ホームゲームスタジアムでの沖縄市 PR
 - ・J リーグ・B リーグとの連携事業による沖縄市 PR
(協会独自で行う事業と合わせて、県・市からの委託事業へ積極的に参加)
- ⑧各種情報の提供
- ・各種イベント情報の提供・季節情報の提供
 - ・プロ野球キャンプ、プロサッカーキャンプを含むスポーツコンベンション情報の提供・会員紹介
 - ・沖縄市の観光情報誌との連携
 - ・沖縄市観光ポータルサイト「KOZA WEB」連携および協会 SNS との連携・沖縄市提供テレビ番組「コザの裏側」への情報提供と連携
- ⑨インバウンド誘致
- ・台湾迪化街や韓国平澤・大邱・青松との連携による誘客活動
 - ・空手を活用した欧州向け誘客宣伝

2. 受入体制の強化および充実

- ①観光お土産品の開発・販売
- ②沖縄市ゼミ合宿プラン・まち歩きの受け入れ、開発・販売・ブランディング
- ③誘客イベントおよび歓迎レセプションの実施・連携
 - ・沖縄アリーナ・音市場やピースフルラブ・ロックフェスティバルなどとの連携
 - ・沖縄市芸能団体協議会や琉球舞踊・民謡酒場やライブハウスなどとの連携
- ④プロ野球キャンプ、プロサッカーキャンプを含むスポーツ合宿の受入、応援ツアーの実施
- ⑤全国で開催されるスポーツ大会や MICE の誘致および支援協力
 - ・沖縄市長杯高校バスケットボール(おきなわカップ)や各種大会などの受入
- ⑥各種研修・講習の実施
 - ・沖縄観光コンベンションビューロー(OCVB)が運営する研修プログラムの実施
 - ・会員および従業員などの多言語化対応スキルの向上
 - ・会員向けセミナーなどの実施
- ⑦エイサー及びエイサー会館との連携
 - ・エイ坊・サーちゃん・たーくん・さなじいなどのキャラクターの活用
 - ・沖縄全島エイサーまつり連携運営、エイサーナイトの運営実施
 - ・エイサーグッズの企画・製造・販売
 - ・エイサー体験などのコンテンツ発信
 - ・エイサー会館の告知、PR 支援
 - ・医療と連携しエイサーをモチーフとしたリハビリ運動コンテンツの開発
- ⑧地域ガイドの育成
 - ・ガイド講座の実施(広域周遊コースガイド育成など)

3. 特産品・お土産品の開発・振興・販売

- ①物産振興活動
 - ・会員商品のプロモーション
 - ・オリジナル商品の開発
 - ・新規認定制度の研究
 - ・プロスポーツチームと連携したコラボ商品の開発・販売
 - ・音楽イベントと連携した限定商品の開発・販売
 - ・県内外での販売促進
- ②農水産業連携
 - ・6次産業化及びブランド化・高付加価値化支援
 - ・地消地産を实践するための連携

4. DMO としての活動

- ・各種目標の数値化及び観光誘客基礎データの収集(宿泊人泊数・満足度など)
- ・儲かる観光地経営の仕組みづくりの調査と研究
- ・関係団体の意見収集の場をつくり、地域の総意を集約する
- ・DMO 及び DMC の調査と研究
- ・日本政府観光局(JNTO)との連携強化
- ・観光に関する事業の「実行可能性調査」「事業化調査」「投資調査」「採算性調査」等を実施(フィジビリティスタディ)

5. スポーツコミッション活動

①誘客プロモーション

- ・スポーツ関連団体に対し、市内への誘客に繋がるプロモーションを国内外で展開
- ・市内事業者と連携した誘客サービスの確立

②スポーツツーリズム

- ・スポーツによる新たな旅行スタイルを確立し、まちなかへの賑わいを創出
- ・アウェイサポーター・ブースターの地域と連携した誘客促進
- ・スポーツ×観光メニューの開発(スポーツ Day trip コザ)

③市内宿泊及び飲食、観光施設などの利用促進

- ・市内宿泊施設や飲食店への積極的な活用を促す
- ・スポーツの余暇を活用し、市内の観光施設や歴史・文化体験を案内
- ・紙マップのDX化による利用促進

④広報広聴活動

- ・活動実績について広く周知を行い、関係団体から広く声を集めることで次の展開へ繋げていく(フィードバック)
- ・アンケート調査を行い、利用者や市内店舗のニーズや経済効果などを調査

⑤企業マッチング

- ・スポーツ関連企業を中心とした企業マッチングによるスポーツ産業の発展に取り組む

⑥人材マッチング

- ・スポーツに関する人材のつなぎ役として活動する
- ・スポーツボランティアの運営(FC琉球やキングス、大会やキャンプ等で活用)

⑦官公庁受託事業

- ・官公庁よりスポーツに関連する事業を受託し、スポーツ振興に寄与する

6. 各種イベントの主催・共催・支援・協力

①各種イベント協力

- ・沖縄国際映画祭「島ぜんぶでおーきな祭」(4月)

- ・琉球ゴールデンキングスシーズン報告会（5月）
 - ・エイサーナイト（6月～8月）
 - ・ピースフルラブ・ロックフェスティバル（7月）
 - ・エイサーin 沖縄アリーナ（8月）
 - ・沖縄市大植木市（6月・10月・3月）
 - ・泉州沖縄祭り（9月）
 - ・コザしん結マルシェ×なりきり信金マン（7月・1月）
 - ・クリーンデーin 沖縄市（11月）
 - ・ナイトコンテンツ MICE 2022in 沖縄（11月）
 - ・沖縄国際カーニバル（11月）
 - ・ミスハイビスカスコンテスト（11月）
 - ・沖縄市コザの食文化イベント（11月）
 - ・沖縄市建設関連団体協力会ゴルフ大会（1月）
 - ・沖縄市長杯高等学校バスケットボール「おきなわカップ」（3月）
 - ・沖縄市産業まつり（1月）
 - ・沖縄市工芸フェア（1月）
 - ・広島東洋カープ春季キャンプ支援（2月）
 - ・F C琉球ホームゲーム支援
 - ・琉球ゴールデンキングスホームゲーム支援
 - ・パナソニックパンサーズサブホームゲーム支援
- ほか、地域イベントへの支援・協力

7. 調査・研究・要請活動の推進

①将来における沖縄市の観光・物産の振興

- ・東部海浜開発（潮乃森）において情報収集および発信、活用の取り組み
- ・中部広域観光ルートにおける開発・策定に関して、近隣市町村および他市町村の観光協会との連携
- ・基地の跡地利用に関する調査・研究
- ・中心市街地再開発に関する調査・研究
- ・知花花織に代表される特産を活用した新製品の開発・販売支援
- ・エイサーのまち推進に関する調査・研究・情報発信
- ・ホテル誘致に関する情報の収集および関係機関との連携
- ・食のブランディングに関する調査・研究・農水との連携
- ・その他必要な要請活動の実施

8. 組織強化および会員拡大と財務の確立

①会員および組織運営

- ・ 役職員が一体となり新規会員の加入促進を図り財務の強化を実施
- ・ 財務強化の一環として、協会オリジナルグッズの企画・製造・販売の実施
- ・ 会員、従業員表彰制度の実施および沖縄観光コンベンションビューロー(OCVB)等の外部の施策の活用
- ・ 会員向けの情報誌の発行による情報共有の実施

②収益事業の推進

- ・ まち歩きや旅行業(3種)を活かした収益事業化(新規商品開発)による協会の財政基盤の安定化
- ・ オリジナル商品の開発、販売による財政基盤の安定化
- ・ リゾートホテルなど民間からの受注による財政基盤の安定化

③内部事務

- ・ 月次収支の把握
- ・ 資金繰り表の作成、中間決算の実施
- ・ 諸規定の内容精査及び勉強会等による職員への周知徹底
- ・ 月2回の内部会議(全体会議)の実施
- ・ 四半期ごとの会報誌作成(会員との情報共有)
- ・ 公益/収益事業の決算整理
- ・ 基金創設/運用
- ・ 財政基盤の強化(新規会員獲得/収益事業の強化)

9. 関係機関・各種団体との連携強化

①県・市の観光・物産の連携を促進

- ・ 沖縄観光コンベンションビューロー(OCVB)
- ・ 沖縄市各部署
- ・ 市内、近隣のリゾート関係者
- ・ 近隣の観光協会との連携、情報共有、共同PR

②観光庁、日本政府観光局(JNTO)との連携強化

③他、民間団体との関係強化

- ・ 新聞社をはじめとするマスコミ各社
- ・ 航空会社、旅行代理店などの旅行商品企画販売

10. 会議について

①今年度実施する会議(執行体制の強化)

各種会議を開催し、情報の収集および事業推進を実行し執行体制の強化を図り、今年度においては下記の会議を実施し、実行する委員会を目指す

- ・ 総会(年1回)
- ・ 理事会(年4～6回)
- ・ 正副会長会議(月2回)
- ・ 青年部会(随時)
- ・ 専門委員会(随時)
- ・ 事務局内部において全体会議の実施(月2回)

②今年度実施する会議(市役所担当部署や外部機関との情報共有)

- ・ 定例会議(月に2回実施)
- ・ エリア事務局長会議の実施(年に2回)

③DMO 推進協議会実施

11. 各種委員会等への参加(2021 年度実績)

①会長担当

- ・ 沖縄国際カーニバル実行委員 (実行委員長)
- ・ ピースフルラブ・ロックフェスティバル実行委員会 (実行委員長)
- ・ 沖縄全島エイサーまつり実行委員会 (副実行委員長)
- ・ 沖縄市東部海浜開発推進協議会 (筆頭副会長)
- ・ 広島東洋カープ沖縄協力会 (副会長)
- ・ 沖縄スポーツコンベンション推進協議会 (副会長)
- ・ OKINAWA CITY 2023 組織委員会 (副委員長)
- ・ 沖縄観光コンベンションビューロー (理事)
- ・ 沖縄市中心市街地活性化協議会 (協議委員)
- ・ 沖縄市スポーツ協会 (理事)
- ・ 沖縄市地域公共交通活性化協議会
- ・ 沖縄市産業まつり実行委員会 (委員)
- ・ 沖縄市工芸フェア実行委員会 (副委員長)
- ・ 東部海浜開発土地利用計画検討委員会 (委員)
- ・ 沖縄市民憲章推進協議会常任委員会 (常任委員)
- ・ 沖縄こどもの国評議委員会 (委員)
- ・ 沖縄地区安全なまちづくり推進協議会
- ・ 沖縄市新年祝賀会実行委員会 (副会長)
- ・ おきなわカップ実行委員会
- ・ 沖縄市国民文化祭実行委員会
- ・ 沖縄県観光協会等協議会 (副会長)

- ・ 沖縄市観光振興委員会（副委員長）

②副会長 A 担当

- ・ 中の町地区まちづくり検討会（委員）
- ・ 広島東洋カーブ沖縄協力会（監事）
- ・ 沖縄市工芸フェア実行委員会（監事）
- ・ 東部海浜開発推進協議会（監事）
- ・ 社会福祉法人緑樹会後援会（評議委員）
- ・ 沖縄市社会福祉協議会（理事）
- ・ 沖縄市商業活性化推進協議会
- ・ 美さと児童園児童自立支援会（理事）
- ・ ゴヤ十字路周辺地区まちづくりワーキング

③副会長 B 担当

- ・ おきなわマラソン実行委員会（評議委員会）
- ・ 東部まつり実行委員会（委員）
- ・ 沖縄全島エイサーまつり企画部会（部員）
- ・ 沖縄全島エイサーまつり財政部会（部員）
- ・ 日本電子電話ユーザー協力会沖縄中部地区協会（理事）
- ・ 沖縄地区防犯協会（理事）
- ・ 暴力団壊滅沖縄市民対策会議（理事）
- ・ 沖縄市交通安全推進協議会（委員）

④事務局担当

- ・ 沖縄市景観審議委員会（審議委員）
- ・ エイサー会館運営委員会
など

12. 観光危機管理計画の実用及び協会内緊急時の対応について

①観光危機管理計画の実用

安全・安心な観光地づくりを推進するため「沖縄市観光危機管理計画」に基づき関係機関と連携し、観光客の安全確保に向け取り組む

②BCP(事業継続計画)の運用

沖縄県・沖縄市の指針に基づき、緊急時には最低限の機能を残しながら事業を継続。

③会員・地域支援

会員の売上確保や地域支援、各種団体や組織と連携した支援策の計画を実施。

④新しい形のイベント・行事の考案

緊急時に実施できないイベント等を新しい形での実施に向けて、各種団体や組織と連携し、考案、構築の推進